
平成17年度
ネットワーク グリーンコンシューマーかがわ総会

日 時 平成17年5月20日(金)
14時から
会 場 香川県県民ホール
多目的大会議室「玉藻」

活 動 方 針

今日の環境問題は、地球温暖化をはじめとする地球規模の環境問題から廃棄物処理問題まで数多くの課題をかかえています。その解決のためには、これまでの大量消費、大量廃棄を基調にした環境に負荷のかかるライフスタイルから負荷の少ないライフスタイルへと速やかに転換していく必要があります。

このような中で、消費者一人ひとりも日常の買い物において、環境にやさしい商品を購入するなど身近なところから環境を考えた行動を実践していくことが求められています。

環境にやさしい買い物推進協議会（ネットワーク グリーンコンシューマーかがわ）は、このような消費者の買い物行動を支援するため、消費者・事業者・行政の三者がネットワークを形成し、環境にやさしい買い物運動を県民全体に広げるため、次のような活動に取り組むことを宣言します。

- 1 協議会は、環境にやさしい買い物運動を県民全体に広めることをめざします。
- 2 協議会は、環境にやさしい買い物運動を推進し、そのような活動に対して支援します。
- 3 協議会は、環境にやさしい商品などの購入や販売を推進します。
- 4 協議会は、環境にやさしい商品などに関する情報を収集し、提供します。

平成12年8月30日

環境にやさしい買い物推進協議会
（ネットワーク グリーンコンシューマーかがわ）

ネットワーク グリーンコンシューマーかがわ総会次第

日 時 平成17年5月20日(金)
14時から
会 場 香川県県民ホール
多目的大会議室「玉藻」

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

第1号議案 新規加入事業者、消費者団体・グループの紹介について

第2号議案 平成16年度事業報告及び決算について

第3号議案 平成17年度事業計画及び予算(案)について

4 香川県消費生活条例の施行について

5 意見交換

6 閉 会

第1号議案 協議会新規加入事業者、団体・グループの紹介について

事業者

	事業者名	代表者職・氏名	所在地	備考
1	(株)シニアライフアシスト	代表取締役 葛西 和久	高松市福岡町4-28-30	
2	(有)洗光舎クリーニング	代表取締役 寒川紀世子	高松市松島町1-2-28	
3	(株)田中工務店	代表取締役 田中 浩一	高松市室町1844	
4	多田羅クリーニング(株)	代表取締役 多田羅 健	坂出市府中町5806-1	

消費者団体・グループ

	団体名	代表者氏名	所在地	備考
1	西さぬき「地球村」	合田和稔	三豊郡山本町辻 3736-7	
2	丸亀友の会	高橋千秋	丸亀市金倉町道下 1539-1	

<参考>

※承認後の協議会加入団体数

消費者団体・グループ	25団体・グループ
事業者	62事業者
行政	36団体
個人	3学識経験者・38個人
計	164会員

(別表)

消費者団体等

(25. 団体・グループ)

香川県婦人団体連絡協議会
JA 香川県女性組織協議会
香川県消費者団体連絡協議会
高松市消費者団体連絡協議会
東かがわ市消費者友の会
さぬき市消費者団体連絡協議会
小豆島消費者友の会
丸亀消費者友の会
多度津消費者友の会
善通寺市消費者友の会
観音寺地区消費者友の会
国分寺町消費者友の会
琴平町くらしの会
香川県生活協同組合連合会
香川県生活学校連絡協議会
香川県連合自治会
香川県連合青年会
ミルの会
三木さわやかグループ
グリーンコンシューマー高松
(株)四国日立グループコンシューマー友の会
エコライフ小豆島
丸亀市心身障害児(者)育成会丸亀夢の会
西さぬき「地球村」
丸亀友の会
事業者 (62 事業者等)
香川県Aコープチェーン店長連絡会
(株)イズミ
(株)キヨーエイ
(株)サニーマート
(株)サンシャイン佐川
(株)スーパーみやうじ
(株)すずらん
(株)ダイエー
(株)天満屋ストア
(株)フジ
(株)マイカル
(株)マルナカ
(株)マルヨシセンター
(株)ムーミー
イオン(株)
生活協同組合コープかがわ
藤田(株)
(有)入谷食品センター
(有)うえたスアール

(有)國代商店
(有)谷澤食料品店
香川県庁消費生活協同組合
サンクス池田・土庄・内海店
河合食料品店
坂本商店
(有)若松屋
岡田屋商店
(株)三越高松店
(株)高松天満屋
常盤ティッシュ(株)
三菱マテリアル直島生協
トータルファッションまさご
大原酒店
(株)ナガセ
八木化粧品店
坂口商店
山口商店
ふじや商店
(有)カドヤ商店
平井商店
松下商店
(有)マサゴ商店
西村ジョイ(株)
ダイキ(株)
溝口商店
(有)井原商店
浜口商店
小林商店
おおにし
レディスファッションアルファ
(有)おにくやさん
(株)シニアライフアシスト
(株)田中工務店
さかえドライ(株)
東宝物産(株)
(株)白洋舎
(有)ハニードライ
(有)ミニスター
(有)ヤングドライ
大杉ドライクリーニング(株)
(有)洗光舎クリーニング
多田羅クリーニング(株)

行政機関 (36 団体)

香川県
高松市
丸亀市
坂出市

善通寺市
観音寺市
さぬき市
東かがわ市
内海町
土庄町
池田町
三木町
牟礼町
庵治町
塩江町
香川町
香南町
直島町
綾上町
綾南町
国分寺町
宇多津町
琴南町
満濃町
琴平町
多度津町
仲南町
高瀬町
山本町
三野町
大野原町
豊中町
詫間町
仁尾町
豊浜町
財田町

学識経験者 (3 会員)

香川大学経済学部教授
関 義雄
高松大学経営学部助教授
馬淵キノエ
(社)日本リサーチ総合研究所室長
小林 貴博

個人会員 (38 会員)

第2号議案 平成16年度事業報告及び決算について

5年目の節目を迎えた平成16年度は、県下全域において引き続き「環境にやさしい買い物キャンペーン」や「レジ袋を減らそうキャンペーン」を実施したほか、より具体的な呼びかけとして、「買い物袋持参デー」や「環境にやさしい商品特売ウィーク」を設けた。さらに、環境への負荷が少ない商品のアピールとして、古紙リサイクルをテーマとした「再生紙100%のトイレットペーパーを買おうキャンペーン」を実施するなど、環境にやさしい買い物運動に関する普及・啓発を行った。

1. 環境にやさしい買い物キャンペーン事業（10月）

10月の「環境にやさしい買い物月間」に併せて、買い物袋の持参やリサイクル商品の購入など環境に配慮した消費者行動を推進し、環境にやさしいライフスタイルへの転換を呼びかける「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施。「ふだんの買い物から環境を考えた行動を」をテーマにごみの減量と省資源・省エネルギーを目的に、環境に負荷の少ない消費者行動を推進した。

キャンペーンでは、買い物袋の持参やリサイクル商品の購入促進などを呼びかけ、環境問題の関心を行動に移すきっかけをつくるとともに、消費者の日常生活の中に習慣化・定着化できるよう県内の主なスーパーマーケット、生協、百貨店、ホームセンター、クリーニング店、計620店舗が参加して集中的に普及・啓発活動を実施した。

①内容

○買い物袋持参の推進

○ごみ減量につながる商品の選択の推進

- ・リサイクル商品（重点：再生紙から作られたトイレットペーパー等）
- ・詰め替え商品（重点：シャンプー、リンス、液体洗剤等）
- ・容器包装の少ない商品（重点：はだか売り・ばら売りの野菜、果物）

○環境にやさしい商品の選択の推進（重点：ダイオキシンが発生しない素材の商品、地元の旬の野菜等）

○クリーニング店のハンガー回収の推進

②街頭・店頭キャンペーンの実施

キャンペーン期間中、消費者団体・グループ、事業者等延べ約180名とともに、JR高松駅を始め、県内のスーパーマーケットなど延べ20カ所において街頭・店頭啓発を実施した。

キャンペーンでは、着ぐるみエコちゃんと消費者団体・グループの会員とともに、2万5千人以上に対して直接身近な取組みを呼びかけた。

③「買い物袋持参デー」及び「環境にやさしい商品特売ウィーク」の設定

10月5日を「買い物袋持参デー」と設定し、買い物袋の持参者へエコちゃんカードのダブル押印を始め、各事業者が独自の特典を設け、積極的な推進を図るととも

に、10月1日から15日までの期間のうち1週間程度を各事業者において環境商品の特売を実施する「環境にやさしい商品特売ウィーク」と設定し、消費者がより参加しやすい体制の整備を図った。

④新聞広告、テレビ、ラジオ、ミニのぼり、広報誌等による広報

県の広報誌、広報番組、新聞、テレビ、ラジオ、地元生活情報誌等を活用し、集中的に啓発活動を行ったほか、スーパー等の店頭では、ポスターの掲示やちらしの配付、レジやサッカ台、商品陳列棚等へミニのぼりを掲出するとともに、事業者が発行するちらしや店内放送での啓発等消費者に積極的な参加協力を呼びかけた。

また、県及び市町職員に対しても庁内放送や庁内ネットワーク掲示板、バナー広告等の活用による啓発を行ったほか、県内全市町において広報車を運行し、県を挙げて参加協力を呼びかけた。

2. 協議会のホームページによる情報提供及び啓発

ホームページを通して、具体的な省資源・省エネルギー効果や環境にやさしい買い物等の各種情報発信を行うとともに、グリーンコンシューマーかがわの活動状況の紹介、意見募集、入会の申込みができるコーナーを設け、多くの県民がグリーンコンシューマー活動に参加できるよう情報提供及びグリーンコンシューマー活動の啓発を行った。また、この運動に対する意見等の受信による情報収集も行った。

3. 中学校技術・家庭科教員対象の環境にやさしい買い物講座の実施（7月3日）

知識を教えることだけではなく、生徒たちが自ら考えて工夫していけるような環境学習が行えるよう、事業に取り上げやすい具体的な内容を研修することを目的に、中学校の技術・家庭科教員に対して環境にやさしい買い物講座を実施した。

・講座参加者数 70名

4. 省エネルギー研修会の開催（10月4日）

毎日使っている家電製品は、大型化や多機能化が進むようになり家庭における消費電力量が増えている。一方、地球温暖化の大きな原因となるCO₂の排出量を減らすために、できるだけ少ないエネルギーで生活することが求められている。そこで、環境に負荷の少ないライフスタイルや持続可能な循環型社会を提案するために、消費者に対しては、家庭での省エネ効果を上げるため、エネルギー効率の良い機器を選択することの大切さや選択のポイント、家電販売事業者に対しては、環境に配慮した経営努力と消費者への適切な省エネ性能の情報提供を促す研修会を開催した。

・研修参加者数 65名

5. グリーンコンシューマー出前講座の実施（6月23日～3月29日）

県民一人ひとりが身近な日常の買い物や行動に環境保全や省資源・省エネルギーの視点を取り入れたライフスタイルへの転換が求められている。そこで、環境にやさしい買い物の方法や環境に負担をかけないライフスタイルなど、省資源・省エネルギー運

動やグリーンコンシューマー活動など、県内24ヶ所において、身近な実践活動への参加を呼びかける講座を実施した。

・講座参加者数 733名

6. 買い物袋持参推進事業

レジ袋減らそうキャンペーン2004(10月1日～12月20日)

全国で年間約305億枚使われているといわれているレジ袋を削減しようと、買い物袋の持参し

やすい雰囲気やきっかけをつくるため、また、実際に買い物袋持参者やレジ袋を断った人の状況や省エネ効果等を数量的に把握するために、協議会加盟店において共通で使用できるエコちゃんカードを発行し、レジ袋(ポリ袋)を断るごとにもらえるスタンプを10個集め、それを応募するレジ袋減らそうキャンペーン2004を実施した。

また、今年度は、応募の際に賞品の抽選に参加するか、直島町の山林火災復興のためのみどりづくりに貢献するのどちらかを選択できるシステムを導入し、広く参加しやすく工夫をした。

期間：平成16年10月1日(金)～12月20日(月)

実施店舗数：県内のスーパー、生協、百貨店、ホームセンター、クリーニング店
620店舗

賞品総数：1,269点

応募数：約50,200通(賞品：37,297通 直島町のみどり：12,9043スタンプ)

7. 再生品・リサイクル商品購入促進事業

再生紙100%のトイレットペーパーを買おうキャンペーン

ゴミの減量のためにも、リサイクル製品を使用することが大切であるとともに、地球温暖化防止のためにも森林資源を守ることが大切なことから、6月の環境月間に併せて、「リサイクルの輪をつなごう！」をテーマに再生品としてもっともポピュラーであるトイレットペーパーに焦点を当てたキャンペーンを実施した。このキャンペーンは、協議会加盟店において再生紙100%のトイレットペーパーを購入し、その商品バーコードを切り取って応募すれば抽選で購入店の商品券が当たるというもの。

期間：平成16年6月1日(火)～6月30日(水)

実施店舗数：県内のスーパー・生協・ホームセンター等 合計180店舗

賞品総数：250点

応募数：1,647通

8. 省エネルギー推進事業

省エネ型家電製品普及キャンペーン

地球温暖化の大きな原因であるCO2は、エネルギーを使うことによって排出されているが、近年、家庭でのエネルギー消費量が著しく増加している。そこで、簡単にで

きる家庭での省エネルギーを推進するために、「省エネ型家電製品普及キャンペーン」を実施し、地球温暖化の阻止に一役をになった。このキャンペーンは、実施店において、家庭の消費電力量の約4割を占めるエアコン・冷蔵庫について、販売価格に加え、平均的な使用年数分である10年分の電気料金を表示するとともに、省エネ性能の違いが一目で分かるよう「AAA」「AA」「A」「B」「C」の5段階に分類した「省エネラベル」を商品に直接表示して、消費者に適切な情報の提供を行い、身近な省エネをアピールした。

期間：平成16年11月1日（月）～12月31日（金）

実施店数：県内の家電販売点 58店舗

対象商品：エアコン・冷蔵庫

9. グリーンコンシューマー協働事業

グリーンコンシューマー運動をより継続的、発展的な運動にするために、NPOの持つ機動性、柔軟性といった特性を活かしたグリーンコンシューマー運動を推進する事業についてNPOに対し公募を行い、協議会との協働事業として実施した。

①グリーンコンシューマー1万人宣言（グリーンコンシューマー高松）

スーパーの店頭や各種イベント会場にてアンケート記入により、「グリーンコンシューマー宣言」を実施。

・期間：平成16年10月5日～平成17年3月11日

・場所：スーパーマーケットや各種イベント会場

・アンケート回収数：7,305枚

②環境にやさしいスーパーマーケットガイドブック「ええ買い物しよる？」の作成 (西さぬき「地球村」)

中・西讃地区のスーパーマーケットを環境にやさしいという視点で調査し、結果をガイドブックとして作成。

・対象：中讃、西讃エリアのスーパーマーケット42店舗

・作成部数：1,000部

10. 情報誌の発行（2月）

グリーンコンシューマーかがわの活動状況や省資源・省エネルギー・環境問題に関する情報を掲載した情報誌「グリーンコンシューマーかがわ2005」を15,000部作成し、県内のスーパー等の店頭や公共施設等に配付した。

平成16年度収支決算

収入区分	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	8,116,779	8,116,779	
県負担金	4,700,000	4,700,000	香川県負担金
助成金	0	300,165	NEDO助成金
直島町への寄付	0	65,000	7事業者より
諸収入	0	46,743	買い物袋売上げ、利息等
計	12,816,000	13,228,687	

支出区分			
会議費	200,000	59,092	企画運営委員会
普及啓発費	8,800,000	3,823,963	
環境にやさしいキャンペーン	(2,500,000)	(1,076,107)	ポスター、パンフレット、ミニのぼり等
エコちゃんカード	(2,500,000)	(1,513,205)	カード印刷、賞品等
トイレトパーキャンペーン	(1,000,000)	(628,420)	ちらし印刷、賞品等
簡易包装キャンペーン	(600,000)	(0)	
省エネ家電製品普及 キャンペーン	(500,000)	(301,290)	
研修会開催	(200,000)	(0)	
研修会開催助成	(500,000)	(0)	
ハンドブック作成	(0)	(0)	
広報費	(1,000,000)	(304,941)	情報誌の作成、新聞広告等
買い物袋持参率調査	0	226,050	調査費
委託費 グリーンコンシューマー推進事業	0	565,888	NPOグリーンコンシューマー高松 西さぬき地球村
雑費	200,000	30,450	
予備費	3,616,000	0	
次年度繰越金	0	8,523,244	
計	12,816,000	13,228,687	

平成16年度の執行状況等について監査を実施した結果、適正に執行されていることを確認しました。

平成17年 5月16日

監事

高松市市民生活課長
久利泰夫

印

監事

細川 洋子



第4号議案 平成17年度事業計画及び予算(案)について

平成17年度は、活動方針に基づき、次の事業を実施する。

1 環境にやさしい買い物キャンペーン事業(10月)

地球温暖化など環境問題への関心を行動に移すきっかけづくりとして、平成12年度から毎年10月に環境にやさしい買い物キャンペーンを実施しているが、本年度も引き続き消費者の日常生活の中に習慣化・定着化できるよう、10月を「環境にやさしい買い物キャンペーン月間」と設定して、県下のスーパーマーケット・百貨店・生協・ホームセンター、クリーニング店等において、普及・啓発を行う。

①キャンペーン内容

- 買い物袋持参の推進
- ごみ減量化につながる商品の選択の推進
 - ・リサイクル商品
 - ・詰め替え商品
 - ・トレイ、ラップなどの容器包装の少ない商品
- 環境にやさしい商品の選択の推進
 - ・環境ラベルの表示がある商品
 - ・ダイオキシンが発生しない素材の商品
- クリーニング店のハンガー回収の推進

②オープニングセレモニーの実施

③街頭・店頭キャンペーンの実施

キャンペーン期間中、JR高松駅や県内の主なスーパーマーケット・百貨店・生協・ホームセンター等の店頭で消費者団体・グループ、事業者、县市町の連携のもと、直接県民に対して啓発グッズを配布するとともに、身近な取組みを呼びかける。

また、消費者団体・グループ等が自主的に地元の小売店や地域のイベントなどで行う啓発活動に対して、啓発グッズの提供などの支援を行う。

④買い物袋持参デー、環境にやさしい商品特売ウィークの設定

- ・買い物袋持参デー(毎月5日)
 - 買い物袋持参者に対する優遇措置(スタンプ2個、値引き、特売など)
- ・環境にやさしい商品特売ウィーク(10月3日~17日までの1週間程度)
 - 再生品、詰替え品、非塩ビ系ラップなどの特売を実施

⑤広報

テレビ、ラジオ、新聞などマスメディアを活用するとともに、ポスター、広報紙、電光掲示板などによる広報を行う。

2 レジ袋を減らそうキャンペーン事業（10月3日～12月20日）

環境にやさしいライフスタイルへの転換を図るきっかけづくりの一環として、買い物袋の持参しやすい雰囲気づくりやきっかけづくりのために実施する。

実施店共通の「エコちゃんカード」により、レジ袋を断わるごとに押してもらえるスタンプを10個集めて応募するもの。

応募の際に、抽選による賞品獲得、または、社会貢献（直島町の山林火災復興基金への資金提供）のどちらかを選択し、社会貢献を選択した場合は、エコちゃんカード1枚につき10円として換算し、応募枚数に応じて直島町の災害復興のための植林費用として協議会が拠出する。

3 省エネラベルキャンペーン事業（6月・7月・11月・12月）

省エネ性能にすぐれた製品はそうでないものと比べると一般的に高額なものが多いが、省エネ性能にすぐれた製品を使用することで家庭での省エネ効果は高められる。

そこで、平均的な家庭の消費電力の約4割を占める冷蔵庫とエアコンを対象に販売価格と平均的な使用年数分のランニングコスト（電気代）を含めて表示することにより、省エネ製品のもたらす利益を具体的にあらわし、省エネ性能にすぐれた家電製品の購入促進キャンペーンとして実施する。

4 研修会、講習会の開催

- ①消費者団体・グループ会員対象の出前講座
- ②学校・企業対象の出前講座
- ③地域住民対象の出前講座

5 グリーンコンシューマー協働事業

グリーンコンシューマー運動をより継続的、発展的な運動にするために、NPOの持つ機動性、柔軟性といった特性を活かしたグリーンコンシューマー運動を推進する事業についてNPOに対し公募を行い、協議会との協働事業として実施する。

6 グリーンコンシューマー推進員養成講座

ごみ減量と省資源・省エネルギーなど、グリーンコンシューマー運動や地球温暖化防止に向けて地域で活動するリーダーを養成することを目的に、単なる教養講座ではなく地域住民に向けて自らが啓発・発信できるような人材やグループを地域の中で育成する養成講座を実施する。

7 情報誌の発行

グリーンコンシューマーかがわの活動状況や環境問題に関する情報を掲載した情報誌「グリーンコンシューマーかがわ2006」を発行する。

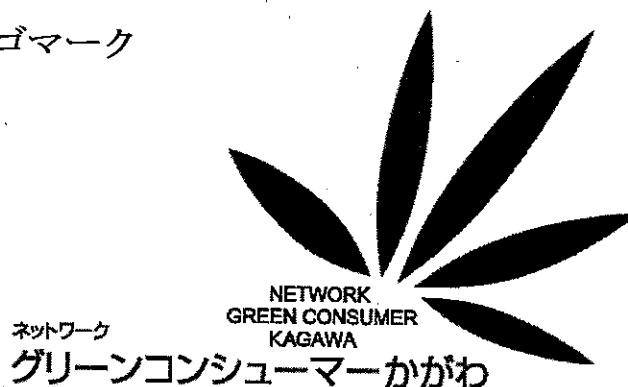
8 買い物袋持参率全県調査（県事業）

調査対象店舗（事業者）において、買い物袋持参状況調査を実施する。

調査日時：10月5日（水）10時から20時まで

調査対象：平成16年度に実施した46店舗

ロゴマーク



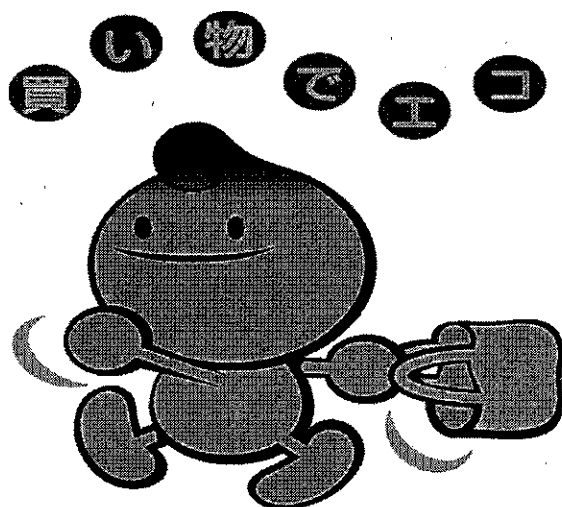
手のひらを広げたSTOPの形をケナフの葉で表現している。

今までのように安易に買い物するのではなく、“よく考えて”という意味を込めている。

平成17年度予算（案）

収入区分	17年度予算額	16年度予算額	備考
前年度繰越金	8,523,244	8,116,779	
県負担金	4,000,000	4,700,000	
助成金	0	0	NEDO助成金
県委託料	0	0	
諸収入	0	0	買い物袋売上げ、利息等
計	12,523,000	12,816,000	

支出区分	17年度予算額	16年度予算額	
会議費	200,000	200,000	企画運営委員会運営
普及啓発費	6,500,000	8,800,000	
環境にやさしいキャンペーン	(2,500,000)	(2,500,000)	ポスター印刷等
エコちゃんカード	(2,500,000)	(2,500,000)	カード印刷、賞品等
トイレットペーパーキャンペーン	(0)	(1,000,000)	ポスター、ちらし印刷等
簡易包装キャンペーン	(0)	(600,000)	ポスター、ステッカー印刷等
省エネルギーキャンペーン (省エネ家電製品普及キャンペーン)	(500,000)	(500,000)	専用ソフト、ラベル等
研修会開催	(0)	(200,000)	講師謝金、旅費等
研修会開催助成	(0)	(500,000)	講師謝金、旅費等
ハンドブック作成	(0)	(0)	郵送料、返信料等
広報費	(1,000,000)	(1,000,000)	情報誌の作成、新聞広告等
委託費 グリーンコンシューマー推進事業	600,000	0	NPO等団体への委託事業
講座経費 グリーンコンシューマー推進員 養成講座	2,000,000	0	講師謝金、旅費、会場使用料等
雑費	200,000	200,000	
予備費	3,023,000	3,616,000	
計	12,523,000	12,816,000	



エコちゃん